

記載例

様式第1号(第3条関係)

事前協議書

令和〇〇年〇月〇日

行為に着手する60日前までに提出してください。

安中市長 様

法人その他の団体については、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の方を記入してください。

住所(所在地) 安中市安中〇〇番地〇
氏名(名称及び代表者) 安中 太郎
(法人の場合) 代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 027-382-〇〇〇〇

安中市景観条例第13条の規定により、関係図書を添えて次のとおり事前協議の申出をします。

行為の場所	安中市安中〇〇〇番地〇〇	
地域地区の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 都市計画区域内(用途地域(近隣商業 地域)・用途地域外) <input type="checkbox"/> 都市計画区域外	
景観形成地区の区分	・いずれかに〇 住宅 商業 工業 農地・集落地 森林・山林(地区) ・該当する場合、いずれかに〇 国道18号沿道 上信越自動車道沿道 西毛広域幹線道路沿道 旧中山道沿道 鉄道 河川・水辺 眺望点 (地区)	
設計者	住所	安中市原市〇〇〇番地〇〇
	氏名	〇〇〇設計事務所
施工者	住所	安中市岩井〇〇〇番地〇〇
	氏名	株式会社〇〇〇建設
行為の期間	着手予定日 令和〇年 〇月 〇日 ・ 完成予定日 令和〇年 〇月 〇〇日	
行為の種類	<input type="checkbox"/> 建築物	用途() 新築、改築、増築、移転、外観の修繕、外観の模様替え、外観の色彩の変更
	<input checked="" type="checkbox"/> 工作物	種類及び用途(太陽光発電備) 新築、改築、増築、移転、外観の修繕、外観の模様替え、外観の色彩の変更
	<input type="checkbox"/> 開発行為	
	<input type="checkbox"/> 屋外における土石、廃棄物、再生資源その他の物件の集積又は貯蔵	
	<input type="checkbox"/> 土地の開墾、土石の採取、鉱物の採掘その他の土地の形質の変更	
<input type="checkbox"/> 広告物の表示、広告物を掲出する物件の設置、又はこれらの外観の変更		

該当する行為の種類にチェックをして下さい。次ページ以降、該当する箇所の詳細を記入してください。

用途地域は安中オンラインマップ等で確認してください。

国土交通省土地利用調整総合支援ネットワーク(LUCKY)で確認し、用途地域や森林・山林地区に該当しない場合は、農地・集落地地区となります。

建築物		届出部分	既存部分	合	計	
	敷地面積	m ²	m ²		m ²	
	建築面積	m ²	m ²		m ²	
	延べ面積	m ²	m ²		m ²	
	最高高さ	m	m		m	
	構造					
	階数	地上	階、地下	階		
	屋根	仕上材				
		色彩				
	外壁	仕上材				
色彩						
用途						
内容	種類	太陽光発電設備	構造			
	敷地面積	900 m ²	築造面積	900 m ²		
	高さ	1.8 m				
	仕上材	太陽光パネル:シリコン系 フレーム・架台:アルミ パワーコンディショナー:ステンレス キュービクル:亜鉛メッキ ルーバーフェンス:人工木(樹脂) 植栽の種類:カイツカイブキ	色彩	太陽光パネル:ウォームグレー (9.4Y5.6/0.5) フレーム・架台:シルバー (N8.5) パワーコンディショナー:オパールグレー (5PB8/0.5) キュービクル:ライトベージュ (5Y7/1) フェンス:ダークブラウン (10YR2.0/1.0)		
開発行為	目的		区域面積			
	法面	高さ	m	擁壁	高さ	m
		長さ	m		長さ	m
	擁壁等の仕上材・色彩					
	法面・擁壁等の形状					
修景の方法						
屋外における土石、廃棄物、再生資源その他の物件の堆積	目的		種類			
	面積	m ²	高さ	cm		
	遮蔽物					
土地の開墾、土石の採掘、鉱物の採	目的		面積	m ²		
	種類					

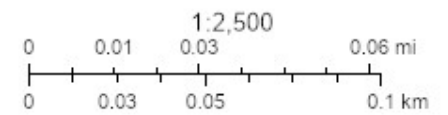
色彩は製造元への確認等により、マンセル値を記入してください。

表面仕上げの材料の詳細を記入し、使用する設備等のカタログ(コピー可)を添付してください。

取その他の土地の 形質の変更	施行方法	□盛土 □切土 □その他()				
	法 面	高 さ	m	擁 壁	高 さ	m
		長 さ	m		長 さ	m
	修景の方法					
広告物の表示、広告 物を掲出する物件の 設置、又はこれらの 外観の変更	種 類			目 的		
	枚 数			面 積		
	色 彩					
景観形成のために特に 配慮した事項	周囲のまちなみに調和するよう、植栽を施した。					

- 1 届出者が法人等である場合には、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名を記載してください。
- 2 「仕上材」欄には、表面仕上げの材料名をできるだけ詳しく記入してください。
(例 日本瓦、小口タイル、波型スレート等)
- 3 外観の模様替え又は色彩の変更の場合には、当該行為に係る部分の面積を建築物にあつては「延べ面積」欄に、工作物にあつては「築造面積」欄にそれぞれ記入してください。
- 4 「色彩」欄は、色相、明度及び彩度の値を記入してください。
- 5 各欄内に記入しきれない場合は、添付する図書に詳しく記入してください。
- 6 行為の変更に係る届出の場合には、計画内容を変更する箇所のみ記入してください。
- 7 届出書及び添付図書は正副2通を提出してください。

都市計画マップ（位置図）



都市計画マップ (配置図兼平面図)

目隠しとして植栽を採用する場合

目隠し(植栽またはルーバーフェンス)は全周にわたって必要です。
植栽は、フェンスの内側でも可とします。
植栽は、種類に応じた成長後の枝ぶりを考慮して、間隔、フェンスや隣地境界との適正な離隔を計画してください。

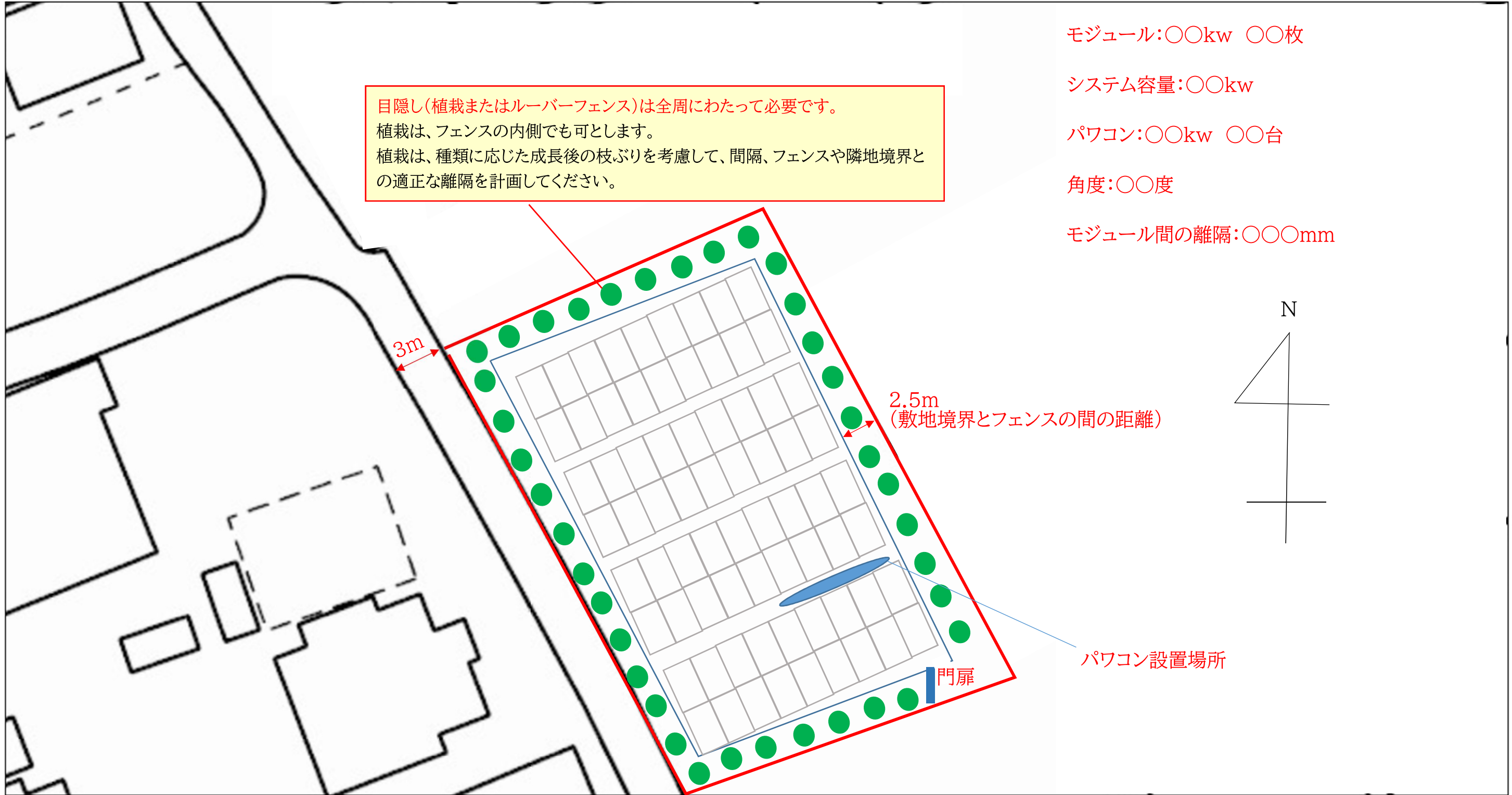
モジュール: 〇〇kw 〇〇枚





システム容量: 〇〇kw

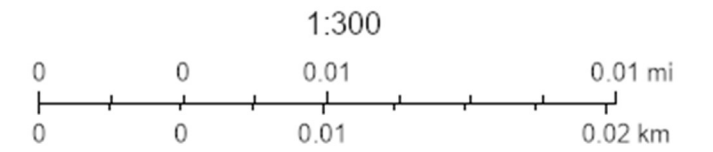
パワコン: 〇〇kw 〇〇台

角度: 〇〇度

モジュール間の離隔: 〇〇〇mm



-  敷地境界 (= 行為の場所)
-  メッシュフェンス (H=〇〇〇〇mm 総延長〇〇m)
-  パネル
-  植栽 (カイヅカイブキ / 150本 / 約1m間隔 / 生育時高さ1800mm / 植栽時高さ300mm)



都市計画マップ (配置図兼平面図)

目隠しとしてルーバーフェンスを採用する場合

目隠し(植栽またはルーバーフェンス)は全周にわたって必要です。
目隠しとしてのルーバーフェンスは、1.8m~2mの高さが必要です。
ルーバーフェンスが高さ2mかつ総延長50mを超える場合、ルーバーフェンスも工作物(塀)として届出の対象となります。

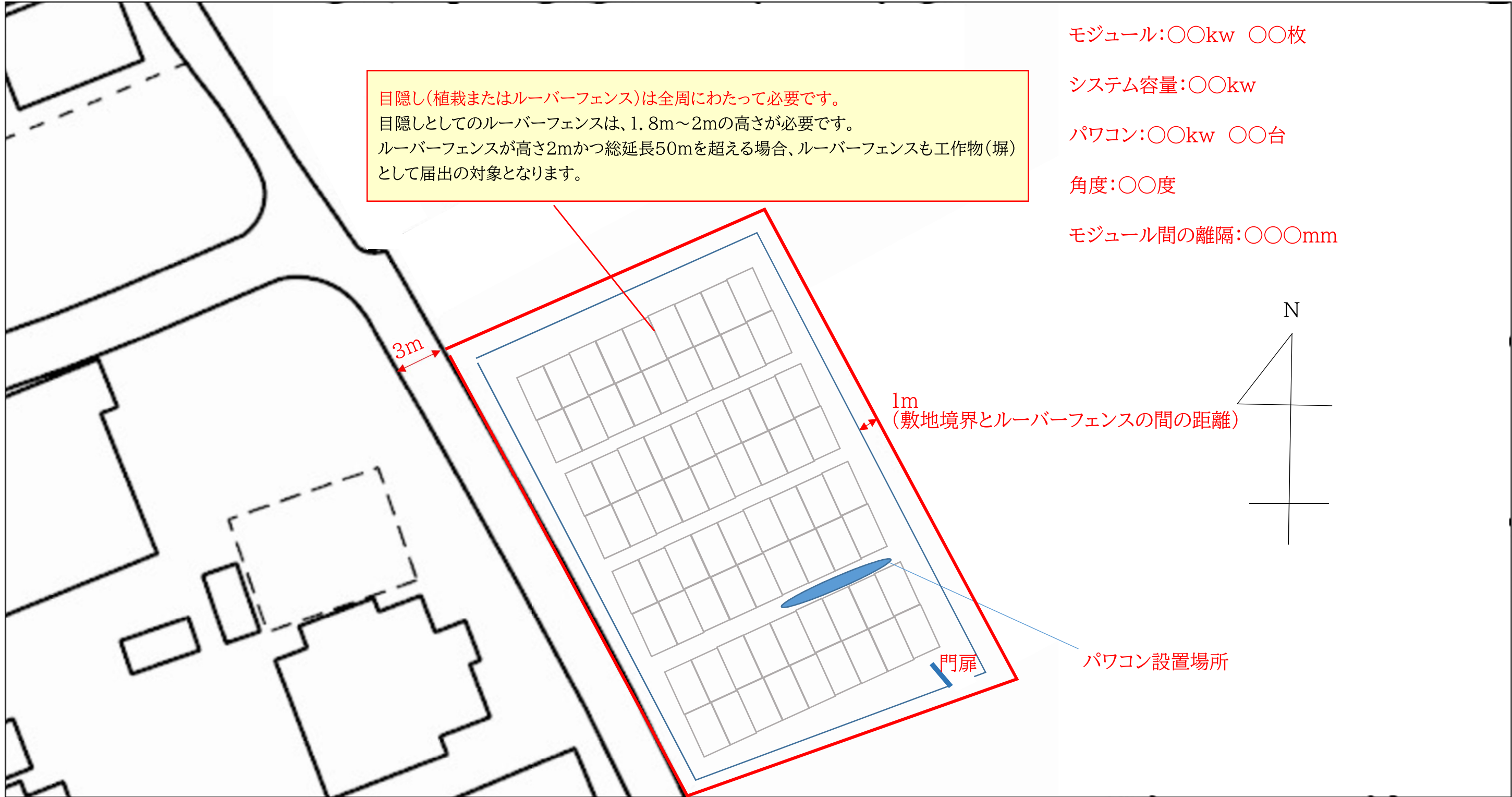
モジュール: 〇〇kw 〇〇枚




システム容量: 〇〇kw

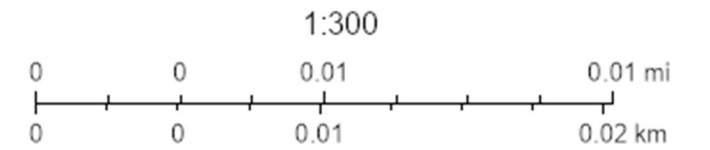
パワコン: 〇〇kw 〇〇台

角度: 〇〇度

モジュール間の離隔: 〇〇〇mm

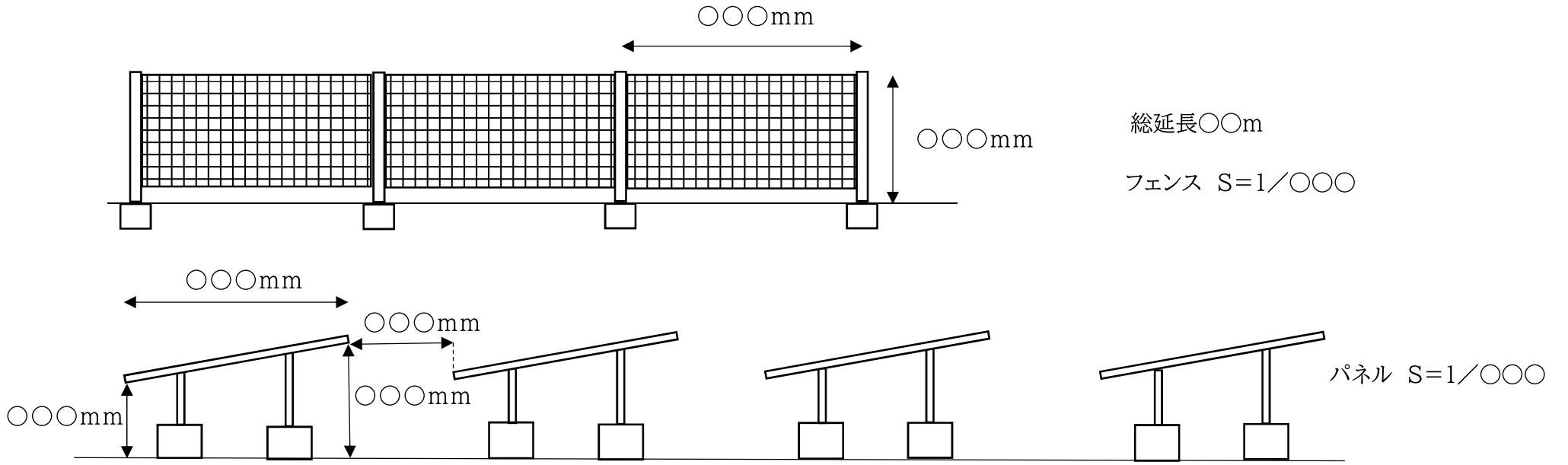


-  敷地境界 (= 行為の場所)
-  ルーバーフェンス (H=〇〇〇〇mm 総延長〇〇m)
-  パネル



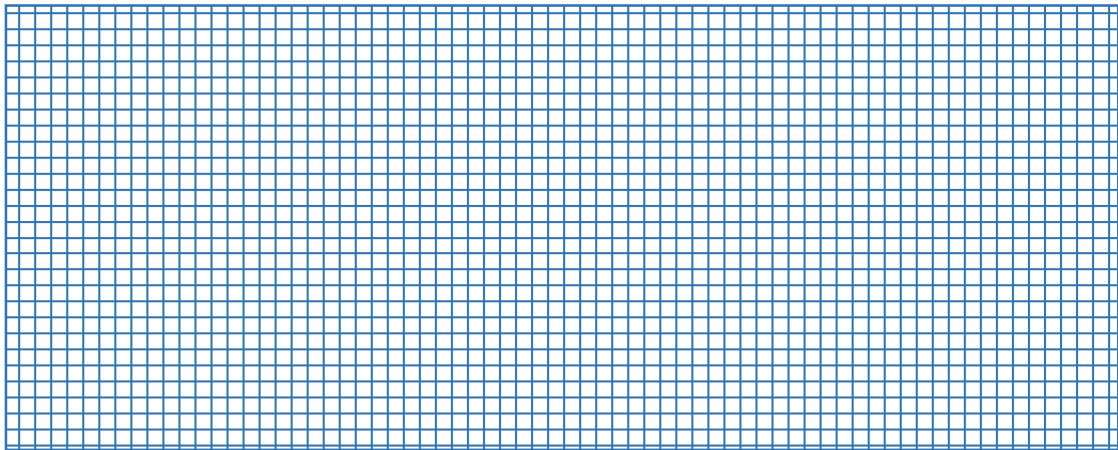
立面図

※土地の区画形質の変更が伴う場合は、縦・横断面図は別に作成してください。



設備(パネル・架台・パワコン・キュービクル・フェンス)のカタログ

〇〇製品カタログ



型番〇〇—〇〇(〇〇kw)

製品仕様

〇〇〇〇・・・〇〇

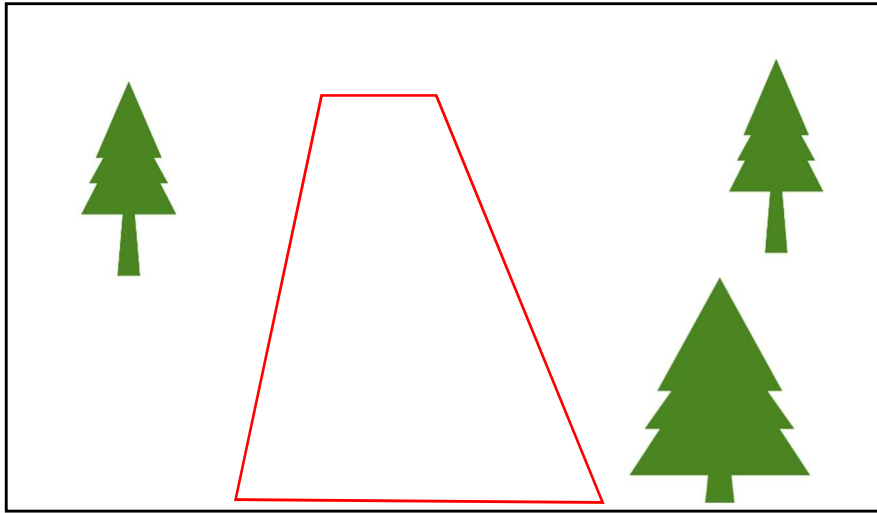
〇〇〇〇・・・〇〇

〇〇〇〇・・・〇〇

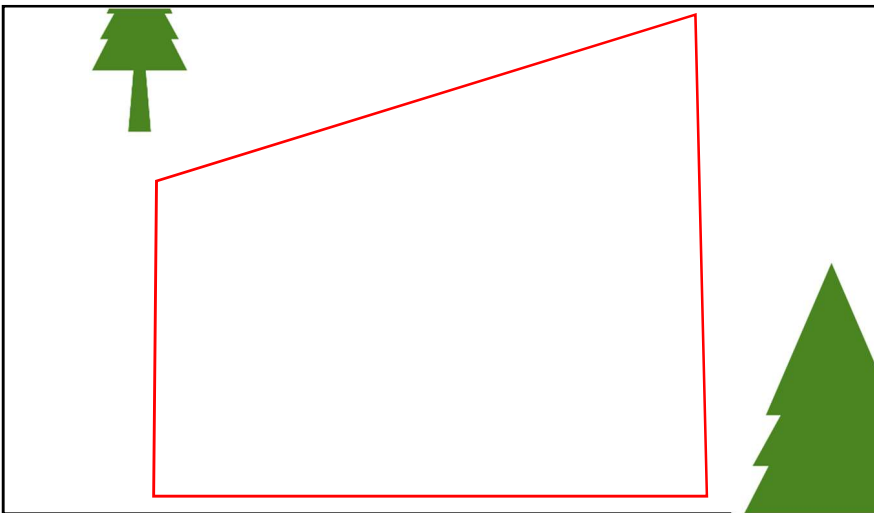
〇〇社

現況写真

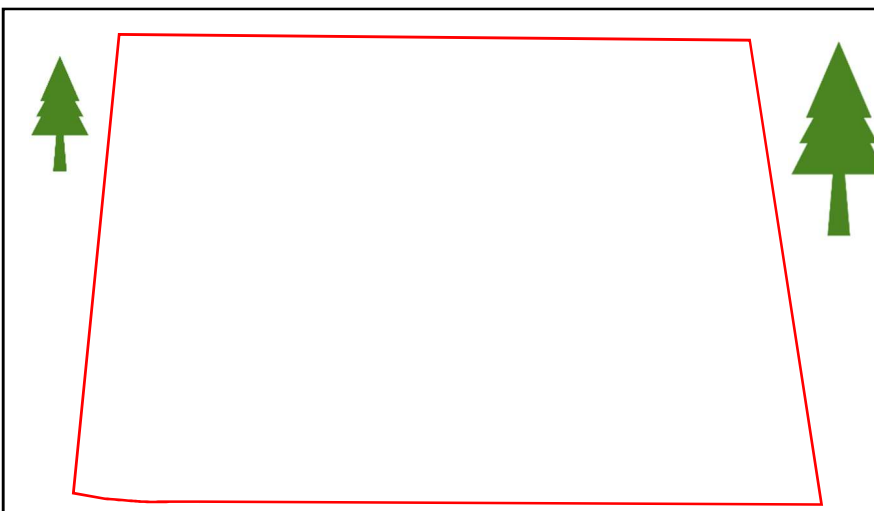
 行為の場所



①



②



③

■ステップ1 地域やまち並みの特徴について

計画地についてご記入ください

現地を歩いてみたり、周辺の建物や自然などを見渡して観察した様子などを各項目に記入してください。

1-1 実施を計画している行為は何ですか。また、景観計画に定めるとの地区に位置していますか。（該当するものにチェック）

※ステップ3では、実施する行為と、該当する地区の欄にご記入ください

【行為】

- 建築物・工作物の新築、改築、増築、移転又は外観の模様替え若しくは色彩の変更
- 携帯基地局の鉄塔の設置等
- 太陽光発電設備の設置等
- 屋外における物品の集積又は貯蔵
- 地形の外観の変更を伴う鉱物の掘採又は土石等の採取
- 土地の区画形質の変更
- 広告物の表示若しくは広告物を提出する物件の設置又は外観の変更

【地区】※地区については、届出の手引きをご参照ください

- 住宅地地区
- 商業地地区
- 工業地地区
- 農地・集落地地区
- 森林・山林地区
- 国道18号沿道地区
- 上信越自動車道沿道地区
- 西毛広域幹線道路沿道地区
- 旧中山道沿道地区
- 鉄道

1-2 地域の特徴を捉えていますか？（自由記入）

・商業地の一角だが、付近に川や道路植栽があり、自然も感じられる地域。
また、旧中山道も付近に存在し歴史も感じられる地域。

1-3 周辺にはどのような自然がありますか？また、どのような自然が見えますか？（自由記入）

・〇〇川

1-4 地域の歴史、文化を知っていますか？ 周辺地域にはどのような歴史的景観等がありますか？（自由記入）

※例：城址や旧街道、並木、古いまち並み、祭り、イベントなど

・旧中山道、〇〇祭り

1-5 地域を特徴づけている都市施設はありますか？ 周辺地域にはどのような都市施設がありますか？（自由記入）

※例：道路、鉄道、公園、学校、病院、図書館、市役所、駅など

・〇〇公園、〇〇病院

1-6 地域やまち並みの特徴をとらえるために、あなたが工夫した点があったら記入してください。（自由記入）

植栽をフェンスの外に配置し、フェンスをダークブラウンとすることで、自然を感じられる意匠とした。

■ステップ2 まわりからの見え方について

各項目中の選択肢に○をつけてください（その他の場合は、その内容を（ ）内に記入してください）。

2-1 計画地は市内の丘陵や高台、景観計画第3章で位置付けた眺望点などからどのように見えますか？（該当するものにチェック）

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 地域のシンボルとしてよく見える | <input type="checkbox"/> まち並みにとけ込んで特定できない |
| <input type="checkbox"/> 場所が分かる程度 | <input checked="" type="checkbox"/> 見える場所がない |
| <input type="checkbox"/> その他（ | ） |

2-2 計画地はどのような場所から見えますか。（該当するものにチェック）

- | | |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 前面道路（東、西、南、北、北東、南西、南東、北西）から | |
| <input type="checkbox"/> 近くの交差点から | |
| <input type="checkbox"/> 近くの公園や学校、公民館、その他の公共施設の中から（施設の名前 | ） |
| <input type="checkbox"/> 周辺道路から | |
| <input type="checkbox"/> その他の場所から（ | ） |

2-3 計画地内には樹木や歴史的な建物など、地域で親しまれているようなものは立地していますか。（ある場合は、その物件の内容を記入してください）

- | | | |
|------------------------------|---|--|
| <input type="checkbox"/> ある（ | ） | <input checked="" type="checkbox"/> ない |
|------------------------------|---|--|

■ステップ3 景観形成基準への配慮について① 【行為】

計画されている行為ごとに定められている景観形成基準をご確認の上、今回工夫していることを記入してください。

太陽光発電設備の設置等	
位置に関する基準を踏まえ実施した工夫	
<ul style="list-style-type: none"> ・敷地境界からフェンスまで2 m程度離隔し、植栽を施した。 	
景観形成基準	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネルが周辺から望見しにくい位置とすること。 ・周囲のまち並みとの調和に配慮し、圧迫感を抑えた位置とすること。 ・周辺との調和を考慮し、太陽光パネルの向きや傾斜を揃えるなど、統一感のある配置とすること。 ・隣接する土地の境界から、適度な離隔距離を確保すること。
規模に関する基準を踏まえ実施した工夫	
<ul style="list-style-type: none"> ・商業地に立地するため、〇〇㎡の小規模施設とし、圧迫感を抑えるため、フェンスと敷地の間に植栽を施した。 	
景観形成基準	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲のまち並み及び周辺の景観と調和した高さ及び規模とすること。
形態に関する基準を踏まえ実施した工夫	
<ul style="list-style-type: none"> ・パネルをフェンスや植栽より低い位置に配置することで、なるべく見えにくくし、周囲の景観と調和させた。 	
景観形成基準	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の景観と調和する高さとすること。 ・建築物の陸屋根に設置する場合には、接地面周囲のパラペットの高さ以下とし、やむを得ずその高さを超える場合にはルーバー等で目隠しをするなど、目立たないようにすること。 ・建築物の勾配屋根に設置する場合には、一体的に見える形態にすること。
色彩に関する基準を踏まえ実施した工夫	
<ul style="list-style-type: none"> ・低彩度・低反射のウォームグレー (9.4Y5.6/0.5)のパネルを採用した。 	
景観形成基準	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネルは、黒又は濃紺など低彩度・低明度の色彩とすること。 ・太陽光パネルは、反射を抑えたものを採用すること。 ・太陽光発電設備の付属設備等は周辺の景観と調和した色彩とすること。
意匠に関する基準を踏まえ実施した工夫	
<ul style="list-style-type: none"> ・植栽をフェンスの外に配置し、フェンスをダークブラウンとすることで、周囲の景観と調和させた。 	
景観形成基準	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電設備を囲うためのフェンス等については、周囲の景観と調和する素材や形状のものを使用すること。 ・必ず周囲の景観と調和した素材や形状の植栽やルーバー等で目隠しをすること。(営農型太陽光発電設備は除く。) ・営農型太陽光発電設備については、周囲の農地景観に配慮したものとする ・建築物の外壁・屋根等へ設置する場合は、外壁・屋根と調和するものとする
その他基準を踏まえ実施した工夫	
<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の住民へ直接訪問し、説明を行った。年4回の草刈りを実施し、適切な維持管理を行う。 	
景観形成基準	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電設備及び敷地内は適切に維持・管理を行い景観の悪化を抑えること。 ・設置に際しては、周辺住民への説明を行うこと。 ・安中市における太陽光発電設備の設置に関する条例等、他法令の規定に基づき設置を行うこと。

■ステップ3 景観形成基準への配慮について② 【地区】

計画地が位置している地区ごとに定められている景観形成基準をご確認の上、今回工夫していることを記入してください。

現地を歩いたり、周辺の建物や自然などを見渡して観察した様子を含め、どのような点が周辺景観と調和しているのかを考えてみてください。

住宅地地区	
色彩に関する基準を踏まえ実施した工夫	
景観形成基準	・周辺のまち並みと調和し、落ち着いた色使いとすること。
意匠に関する基準を踏まえ実施した工夫	
景観形成基準	・境界部は生け垣などを用いてまち並みの調和に配慮すること。 ・自然素材を活用するなど、穏やかな意匠に配慮すること。
その他の基準を踏まえ実施した工夫	
景観形成基準	・ゴミ置き場等は目隠しを行うなどし、周辺景観に配慮すること。 ・照明は適正な配置や照度とすること。
商業地地区	
位置に関する基準を踏まえ実施した工夫	・敷地境界からフェンスまで2 m程度離隔し、植栽を施した。
景観形成基準	・前面道路を歩行者が歩きやすいと感じる位置とすること。
色彩に関する基準を踏まえ実施した工夫	・低彩度のパネルを採用し、まちなみに溶け込むように落ち着いた色のフェンスにした。
景観形成基準	・彩度の高い色彩は避けつつ、周辺のまち並みと調和し、にぎわいを感じる色使いとすること。
意匠に関する基準を踏まえ実施した工夫	・植栽をフェンスの外に配置し、フェンスをダークブラウンとすることで、自然を感じられる意匠とした。
景観形成基準	・境界部は生け垣などを用いてまち並みの調和に配慮すること。 ・自然素材を活用するなど、穏やかな意匠に配慮すること。
その他の基準を踏まえ実施した工夫	・低反射のパネルとした。
景観形成基準	・ゴミ置き場等は目隠しを行うなどし、周辺景観に配慮すること。 ・店舗を閉鎖する際は、適切に維持・管理を行うほか、イベント等での活用を図ること。 ・照明は適正な配置や照度とすること。